

エコアクション21 環境活動レポート



®環境省
エコアクション21

認証番号0006483

第11号(2018年10月～2019年9月)



発行日:2019年12月28日

環 境 方 針

〈環境理念〉

私たちが今日のような豊かな暮らしを実現するために、たくさんのモノをつくり、使い、捨ててきたことによって、自然環境に大きなダメージを与え続けてきました。今さまざまな環境問題が深刻化し、私たちの生命や健康にも影響を及ぼしはじめています。人類は地球の生態系のひとつの要素に過ぎず、かけがえのない地球は私たちだけのものではありません。弊社では、「地元地域の環境保全」「適正処理」「社会貢献」の3大要素を複合させ、廃棄物処理システムを構築してまいりました。

これらに必要なコストをかけ、あらゆる情報を公開し、透明性のある事業を展開することと、独自ノウハウを発揮させて継続していくことが長期にわたり安心・安全を提供できるものと考えます。

いずれは、私たちの子供たちが自然の恩恵を受けて暮らせることを願って、地球環境に配慮した事業活動を展開してまいります。

〈基本理念〉

1. 環境事業を通して社会に貢献します。
2. 安全性・信頼性・俊敏性を磨き、自社ブランドを確立します。
3. 当たり前の事を当たり前に行動できるように、人間力に磨きをかけます。
4. すべての問題を自分に置き換え行動できる集団を目指します。
5. 積極的に改善改革に取り組み、顧客ニーズに応えられる企業を目指します。

〈環境保全への行動指針〉

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
 - ・電力関係（事務所、廃棄物処理施設）
 - ・自動車燃料（営業車、トラック）
 - ②排水量の削減（水資源の保全）
 - ・一般水道水
 - ③廃棄物のリサイクル率の維持（循環型社会への対応）
 - ・産業廃棄物
 - ④社会貢献
 - ・地元地域の環境保全及び環境活動への積極的な参加
 - ⑤グリーン購入
 - ・文具・事務用品・OA機器
 - ・営業車・トラック・重機（低排出ガス車、低燃費車・ハイブリッド車の導入）
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 環境への取組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2011年 10月 1日

改定日：2014年 10月 31日

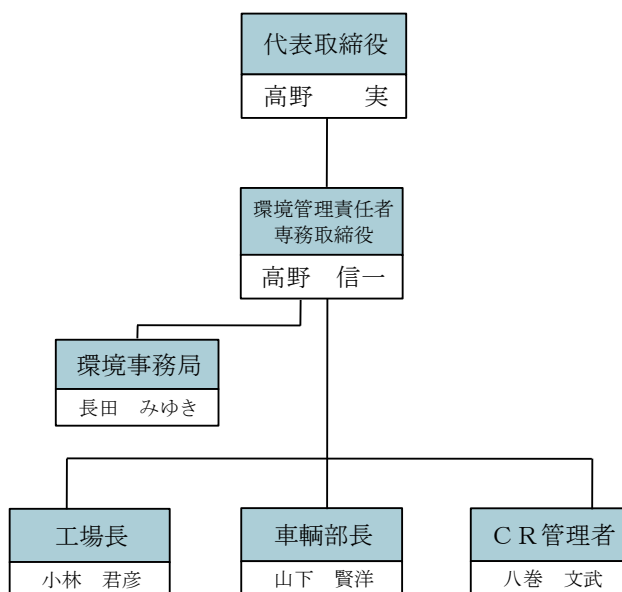
改定日：2019年 12月 28日

代表取締役

高野 康

登録事業所の概要

- 1) 事業所名及び代表者名
 高野産業 株式会社 (法人設立年月日：昭和62年7月)
 代表取締役 高野 実
- 2) 所在地
 山梨県韮崎市下祖母石2278番地
- 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者：専務取締役 高野 信一
 (連絡先)
 TEL：0551-23-0072(代)
 FAX：0551-23-0073
 HP：http://www.tkn1987.jp
 E-mail：ts@tkn1987.jp
- 4) 事業内容（認証・登録の範囲）
 産業廃棄物及び一般廃棄物の収集・運搬、中間処理
- 5) 事業の規模
 資本金 1,000万円
 売上高 7.70億円（2018年10月～2019年9月）
 従業員 30名
 延べ床面積 3,896.57㎡
- 6) 事業年度 10月～9月
- 7) 組織図



主な環境負荷の環境目標及び環境活動計画

2018年度は、3か年計画の中間年度になりました。

2016年度終了後、環境目標値の見直しを行いました。2011年度から取り組みを始めて3年間の成果を基に2016年度の実績数値を基準値へと改定いたしました。

下記、目標値の達成に向け2018年度の活動を開始いたしました。

環境目標 3か年計画〔2017年～2019年〕

取組項目	単位	基準値	目標値				
			2017年	2018年	2019年		
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2/百万円	1,761.88	1,760.12	1,758.36	1,756.59		
内訳	電力使用量削減 (年間0.1%ずつ)	kwh/百万円	56.74	56.68	56.63	56.57	
		kg-CO2/百万円	27.75	27.72	27.69	27.67	
	ガソリン使用量削減 (年間0.1%ずつ)	L/百万円	7.64	7.63	7.62	7.62	
		kg-CO2/百万円	17.74	17.72	17.70	17.69	
	軽油使用量削減 (年間0.1%ずつ)	L/百万円	652.59	651.94	651.28	650.63	
		kg-CO2/百万円	1,712.61	1,710.90	1,709.18	1,707.47	
	燃費向上 (年間0.1%ずつ)	大型車	km/L	3.05	3.05	3.06	3.06
		小型車	km/L	5.51	5.52	5.52	5.53
	灯油使用量削減 (年間0.1%ずつ)	L/百万円	1.52	1.52	1.52	1.51	
		kg-CO2/百万円	3.79	3.78	3.78	3.77	
水道水使用量の削減 (年間0.1%ずつ)	m ³ /百万円	0.382	0.382	0.382	0.381		
リサイクル率の維持 (30%を維持する)	%	36.00	37.00	38.00	39.00		
社会貢献	地元地域の環境保全及び環境活動への積極的な参加						
グリーン購入	営業車・トラック・低排出ガス車・低燃費車の導入 事務用品（グリーン購入法適合商品）の購入						

電力の排出係数：0.489 (kg-CO2/kWh) を使用（電力以外の排出係数はガイドライン2009年版による）

環境目標に対する実績及び評価

運用期間（2018年10月～2019年9月）

項目	取組項目	目標値	実績値	達成率	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量 (kg-CO2/百万円)	27.69	25.29	109.5%	
	ガソリン使用量 (kg-CO2/百万円)	17.70	18.24	97.0%	
	軽油使用量 (kg-CO2/百万円)	1,709.18	1,707.70	100.1%	
	燃費向上 (km/L)	大型車	3.06	3.10	101.3%
		小型車	5.52	5.58	98.9%
	灯油使用量 (kg-CO2/百万円)	3.78	1.77	213.6%	
水使用量削減	水使用量削減 (m3/百万円)	0.382	0.554	69.0%	
リサイクル率の維持	リサイクル率の維持 (%)	38.00	41.00	92.7%	
社会貢献	地域清掃活動（11月・7月の2回）に参加しました。				
	夏祭りには模擬店を出店しました。（他の祭事には飲み物を提供致しました。）				
グリーン購入	低燃費の低公害車（増t車）を新規購入しました。				
	文具・事務用品はグリーン購入法適合品を購入しました。				

電力の排出係数：0.489(kg-CO2/kWh：伊藤忠エネクス)を使用（電力以外の排出係数はガイドライン2009年版による）

（評価）

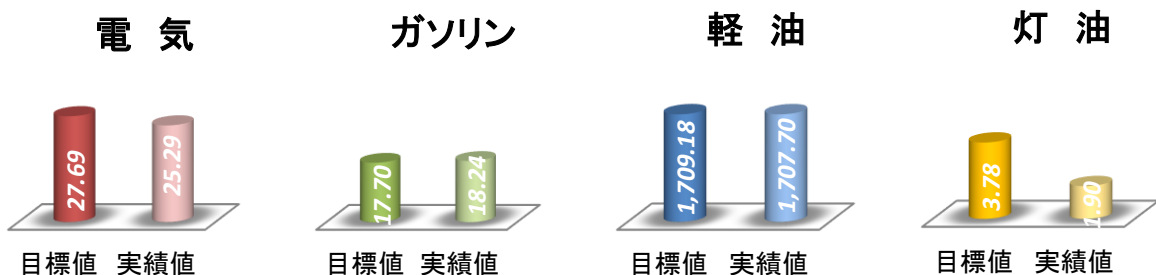
環境目標 8 項目の内、達成した項目は4項目であり、達成項目率は50%です。

二酸化炭素に関わる 4 項目の達成状況は、下記の通りであり、達成率は100.3%です

二酸化炭素排出量

運用期間（2018年10月～2019年9月）

項目	取組項目	目標値	実績値	達成率
二酸化炭素排出量削減	電力使用量 (kg-CO2/百万円)	27.69	25.29	109.5%
	ガソリン使用量 (kg-CO2/百万円)	17.70	18.24	97.0%
	軽油使用量 (kg-CO2/百万円)	1,709.18	1,707.70	100.1%
	灯油使用量 (kg-CO2/百万円)	3.78	1.77	213.6%
	(合計)		1,758.35	1,753.00



主要な環境活動計画の取組結果とその評価

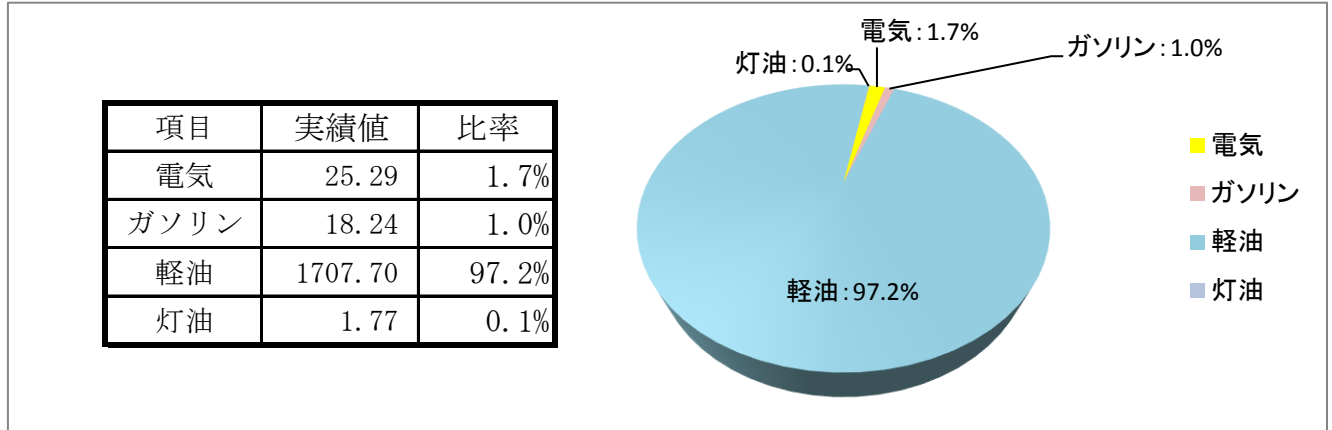
次年度取組内容

(1) 環境活動計画の取組結果とその評価

1) 二酸化炭素排出削減

当社の二酸化炭素排出源としては、電気、ガソリン、軽油の消費に伴い排出されるものが主で、下のグラフに示すとおり軽油の消費による二酸化炭素排出量が全体の約97.2%を占めるため、軽油の消費削減を最重要課題として取組み活動を行いました。

二酸化炭素の排出比率



具体的な実施項目		取組結果	評価・次年度の取組内容
電気	オフィス電力使用量の削減 (従量電灯C)	不使用时・昼休み時間の電灯OFF エアコンの設定温度管理	○ 目標達成。継続して削減への取組を行う。
	処理施設電力使用量の削減 (高圧電力A)	破砕機・選別機等の工程手順の見直し 工程ロス削減による運転時間の短縮	○ 目標達成。引き続き新規基準に向け計画して削減への取組を行う。
ガソリン	使用量の削減	効率的な営業ルートを選択 法定速度・規則・エコドライブの厳守	○ エコドライブ・営業ルートの効率化等で目標を達成した。継続して取組を行う。
軽油	燃費向上・使用量の削減	デジタコ・管理システムによる燃費の管理(燃費の向上)	○ 今期は燃費が大型車・小型車とも目標を達成した。目標値よりも約0.2%の削減を確認できた。
		運転者の省燃費運転の意識向上への教育	○ 基準年の同期間よりも約14%売上高が減少していたが目標を達成することができた。引き続き削減に努める。
		売上高に対する使用量の削減	○
灯油	使用量の削減	小まめな温度調整 無人時のストーブの消火	○ 目標達成。引き続き新規基準に向け計画して削減への取組を行う。

2) 水使用量削減 (なお、この1年間は、漏水事故等による水の異常使用はありません。)

具体的な実施項目		取組結果	評価・次年度の取組内容
水道	使用量の削減	使用時のこまめなバルブ開閉	△ 夏場の早い時期からの井戸水枯渇により水道水の使用量が増え未達成。節水に努めるよう指示した。
		効率的な散水・計画的な洗浄	

3) リサイクル率の維持

具体的な実施項目		取組結果	評価・次年度の取組内容
リサイクル	リサイクル率の維持	○	継続的な取組により目標を達成した。次年度は新基準にむけ向上を目指し取組を行う。
	木くず・金属くずの100%リサイクル 徹底した選別による有価物回収(拾集)		

4) 廃棄物の削減

自社より発生する廃棄物の種類としてコピー用紙がありますが、すでにコピー用紙の使用削減の取組みを行っているため、削減目標に取り上げていませんが今後も継続的に取組みを行っていきます。具体的な削減取組としましては、電子化によるペーパーレス化、ミスプリント削減、裏紙利用(含、両面コピー)等を行っています。今後も継続して取組を行います。
エコキャップ運動への参加、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)へ使用済み切手の寄付をしています。



5) グリーン活動

① 今期、低燃費の低公害車(増t車)を新規購入いたしました。今後も作業用重機・運搬車両を低公害車に入替えを行っていきます。



② 文具・事務用品は「グリーン購入適合品」を購入しました。



③ 今後も継続してグリーン活動を行っていきます。

5.

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般・産業廃棄物の収集運搬・処分
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、電気冷蔵庫（凍）庫、電気洗濯機・衣類乾燥機
フロン排出抑制法	特定フロン使用エアコン
PM条例	車両

上記の法律について遵守状況を確認したところ、遵守されているとの評価を得ています。環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の違反はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

6.

地域との関わり

弊社では、地元地域の環境保全を大前提に事業を展開しており、地域美化活動及び地域行事への参加を積極的に行っています。

2018年度の地域活動は次のとおりです。

地域活動の名称	活動内容	実施年月
秋の環境整備水路清掃	河川清掃及び周辺の草刈り	H30.11
秋葉山神事新年会	飲み物提供	H31.1
夏祭り（九頭竜祭典）子供神興	飲み物提供	R1.7
河川愛護デー	河川清掃及び周辺の草刈り	R1.7
盆踊り、カラオケ大会	模擬店出店：金魚・ヨーヨーすくい ソフトクリーム (売上金は全額、自治会に寄付)	R1.8

廃棄物処理業の情報公開項目

1. 許可の内容

 は更新申請中です。

許可項目	許可区域	許可番号等	許可の年月日	許可の有効期限	備考
産業廃棄物収集運搬業	山梨県(優良)	第01914001455号	平成28年08月14日	平成35年08月13日	
		第01954001455号	平成28年03月04日	平成35年03月03日	特管
	東京都(優良)	第13-00-001455号	平成29年12月01日	平成36年11月30日	
	栃木県	第00900001455号	平成27年11月21日	平成31年11月20日	更新申請中
	群馬県(優良)	第01000001455号	平成27年09月08日	平成34年09月07日	
	千葉県(優良)	第01200001455号	平成24年03月26日	平成38年03月14日	
	埼玉県(優良)	第01102001455号	平成29年08月10日	平成36年08月06日	
	神奈川県(優良)	第01402001455号	平成29年10月25日	平成36年09月28日	
		第01452001455号	平成28年12月08日	平成35年10月31日	特管
	長野県(優良)	第2009001455号	平成29年12月26日	平成36年12月25日	
		第2059001455号	平成28年06月02日	平成36年06月01日	特管
	静岡県(優良)	第02201001455号	平成30年01月17日	平成37年01月16日	
	愛知県(優良)	第02300001455号	平成25年06月16日	平成32年06月15日	
	岐阜県(優良)	第02100001455号	平成28年07月25日	平成35年07月04日	
	三重県(優良)	第02400001455号	平成28年07月26日	平成35年07月25日	
新潟県(優良)	第01509001455号	平成25年04月16日	平成32年04月15日		
滋賀県	第02501001455号	平成27年07月28日	平成32年07月27日		
産業廃棄物処分業	山梨県(優良)	第01924001455号	平成26年03月15日	平成33年03月14日	
一般廃棄物収集運搬業	韮崎市	韮市指令第347号	平成30年04月01日	平成32年03月31日	
	甲府市	環指令第49号	平成29年07月04日	平成33年07月03日	
	中央市	中央市指令第27-32号	平成29年12月01日	平成33年11月30日	
	北杜市	北杜環境第1486号	平成30年04月01日	平成32年03月31日	
	寄居町	第K1802U050-3号	平成30年02月01日	平成32年01月31日	
一般廃棄物処分業	韮崎市	韮市指令第289号	平成29年04月01日	平成33年03月31日	

* (優良) は「優良産廃処理業者認定」

2. 事業の範囲

許可項目		廃棄物の種類	
産業廃棄物収集運搬業		燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(※)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）及び陶磁器くず(※)、鉱さい、がれき類(※)、ばいじん(※印があるものは石綿含有産業廃棄物を含む)	
産業廃棄物収集運搬業（特管）		廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、特定有害産業廃棄物（廃石綿等、ばいじん、燃え殻）	
一般廃棄物収集運搬業		事業系ごみ	
産業廃棄物処分業	圧縮施設	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）及び陶磁器くず、がれき類	
	処理方式 圧縮 (処理能力)	廃プラスチック類	8.70t/時間(69.6t/日)
		紙くず	7.31t/時間(58.4t/日)
		木くず	6.89t/時間(55.1t/日)
		繊維くず	5.46t/時間(43.7t/日)
		金属くず	16.73t/時間(133.81t/日)
		ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）及び陶磁器くず	1.57t/時間(12.5t/日)
		がれき類	17.40t/時間(139.21t/日)
	破砕施設	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ゴムくず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）及び陶磁器くず、がれき類	
	処理方式 破砕 (処理能力)	廃プラスチック類	4.41t/時間(35.3t/日)
紙くず		4.63t/時間(37.1t/日)	
木くず		6.30t/時間(50.4t/日)	
繊維くず		2.86t/時間(22.9t/日)	
ゴムくず		6.85t/時間(54.8t/日)	
金属くず		4.53t/時間(36.3t/日)	
	ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）及び陶磁器くず	8.60t/時間(68.8t/日)	
	がれき類	5.93t/時間(47.5t/日)	
選別施設	汚泥（道路清掃により生じたものに限る。）、プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ゴムくず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）及び陶磁器くず、がれき類		
処理方式 選別 (処理能力)		13.75m ³ /時間(110.0m ³ /日)	

2. 事業の範囲

一般廃棄物処分業	圧縮施設	可燃物(生ごみは除く)、不燃物、粗大ごみ	
	処理方式 圧縮 (処理能力)		133.847t/日(8h)
	破砕施設	可燃物(生ごみは除く)、不燃物、粗大ごみ	
	処理方式 破砕 (処理能力)		68.6t/日(8h)
	選別施設	可燃物(生ごみは除く)、不燃物、粗大ごみ	
	処理方式 破砕 (処理能力)		55.5t/日(8h)

3. 施設等の状況

■ 運搬車両の種類と台数

運搬車両の種類	台数
トラクタ	1
ダンプセミトレーラー	1
脱着装置付コンテナ専用車 (*25t)	10
脱着装置付コンテナ専用車 (*22t)	2
脱着装置付コンテナ専用車 (4t)	3
脱着装置付コンテナ専用車 (3t)	2
ダンプ車 (*25t)	1
平ダンプ車 (*20t)	1
塵芥車 (6t)	1
塵芥車 (4t)	1
塵芥車 (2t)	1
ユニック車 (3t)	2
総台数26台	

※はGVW・他は車両タイプ

■ コンテナ所有台数

コンテナの種類	台数
33 m ³ コンテナ	1
30 m ³ コンテナ	1
20 m ³ コンテナ	52
15 m ³ コンテナ	1
8 m ³ コンテナ	156
5 m ³ コンテナ	28
4 m ³ コンテナ	75
3 m ³ コンテナ	60

4. 積替保管施設

項目	面積	保管上限量	廃棄物の種類	
積替保管施設①	76㎡	190㎡	産業廃棄物	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(※)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず(※)、鋳さい、がれき類(※)、ばいじん(※印があるものは石綿含有産業廃棄物を含む)
			一般廃棄物	廃プラスチック類、ガラスくず、陶磁器くず、廃乾電池、廃蛍光管、廃家電品、金属くず、粗大ごみ、焼却灰、ばいじん、溶融固化物、汚泥
積替保管施設②	25㎡	12.5㎡	産業廃棄物	廃プラスチック類(※)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず(※)、がれき類(※)(※印があるものは石綿含有産業廃棄物を含まない)
積替保管施設③	10.9㎡	22.8㎡	産業廃棄物	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(※)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず(※)、鋳さい、がれき類(※)、ばいじん(※印があるものは石綿含有産業廃棄物を除く)
積替保管施設④	8.6㎡	18㎡	産業廃棄物	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(※)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず(※)、鋳さい、がれき類(※)、ばいじん(※印があるものは石綿含有産業廃棄物を含まない)
			一般廃棄物	廃プラスチック類、ガラスくず、陶磁器くず、廃乾電池、廃蛍光管、廃家電品、金属くず、粗大ごみ、焼却灰、ばいじん、溶融固化物、汚泥

5. 処理実績 (2018年10月～2019年9月)

廃棄物の種類	品目	処理量(t)
産業廃棄物／収集運搬	木くず・廃プラ類・汚泥・混合廃棄物など	35,916
産業廃棄物／中間処理	木くず・廃プラ類・ガラ陶・混合廃棄物など	5,332
一般廃棄物／収集運搬	焼却灰・不燃残渣・可燃ごみ・不燃物など	7,913
一般廃棄物／中間処理	可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみなど	114

※1トン以下の数量は四捨五入

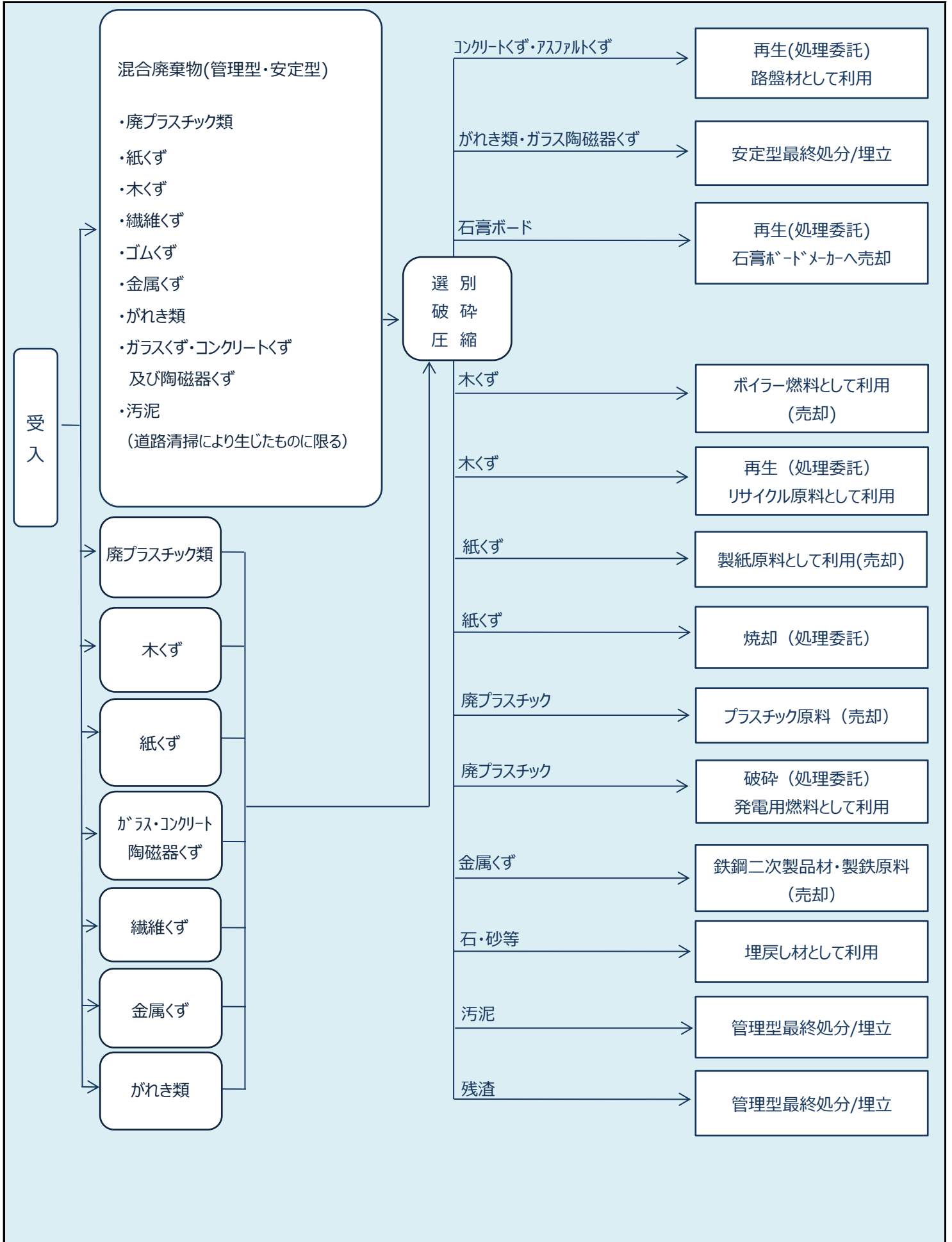
6. 廃棄物処理料金

廃棄物の収集運搬等の料金は、お客様（排出事業者様）とのご契約時にお見積書をご提出し、協議の上、決めさせて頂いております。

なお、廃棄物の品目、性状、排出場所、排出量、荷姿等をご連絡頂ければ、お見積もりさせていただきます。（お見積もりは無料です。連絡先TEL0551-23-0072 営業部 手塚まで。）

以上

7. 処理工程図



8. 処理工程表

【最終処分場所、方法及び処理能力】関係

[白抜き施設が高野産業㈱で中間処理後の処理・再生・売却先、網掛け施設が高野産業㈱で中間処理後の処理先からの売却または処理先]

中間処理後の廃棄物	管理NO	施設の種類	処理方法	処理能力	備考及び処理後の残渣等	
廃プラスチック類 (選別・破碎・圧縮)	A	再資源化施設	圧縮・減容	再資源化施設	売却	
	B	中間処理	破碎	301t/日	サーマルR (発電原料)	
	B-1	再資源化施設	再資源化施設		自社発電燃料	
	B-2	再資源化施設	再資源化施設		売却 (ボイラー燃料)	
	C	中間処理	破碎・減容固化	4.33t/日	4.33t/日	サーマルR (RPF原料)
	C-1	再資源化施設	再資源化施設		売却 (ボイラー燃料)	
	D	中間処理	破碎・選別	166t/日	166t/日	
			破碎・圧縮減容	132.7t/日	83.2t/日	
		最終処分	管理型埋立	埋立容量：4,503,360m ³		最終処分
	D-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量：703,500m ³		最終処分
	F	再資源化施設	破碎	再資源化施設		売却
	S	再資源化施設	再資源化施設		売却	
	U	再資源化施設	再資源化施設		売却	
V	中間処理	切断	29.76t/日		売却 (ボイラー燃料)	
紙くず (選別・圧縮)	G	再資源化施設	再資源化施設		売却 (製紙原料)	
	E	再資源化施設	圧縮	再資源化施設		売却 (製紙原料)
	F	中間処理	圧縮	150.4t/日		売却 (製紙原料)
	F-1	再資源化施設	再資源化施設		製紙原料	
	D	中間処理	破碎・選別	166t/日	166t/日	
			破碎・圧縮減容	132.7t/日	83.2t/日	
		最終処分	管理型埋立	埋立容量：4,503,360m ³		最終処分
	D-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量：703,500m ³		最終処分
H	中間処理	焼却	21.72t/日		最終処分	
H-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量：3,164,302m ³		最終処分	
木くず (選別・破碎)	K	中間処理	焼却	45.17t/日		売却 (ボイラー燃料)
	R	再資源化施設	再資源化施設		売却 (ボイラー燃料)	
	L	中間処理	破碎	544t/日		売却
	L-1	再資源化施設	再資源化施設		製紙原料、バイオマス発電	
	D	中間処理	破碎・選別	166t/日	166t/日	
			破碎・圧縮減容	132.7t/日	83.2t/日	
	最終処分	管理型埋立	埋立容量：4,503,360m ³		最終処分	
D-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量：703,500m ³		最終処分	

【最終処分場所、方法及び処理能力】関係

〔白抜き施設が高野産業㈱で中間処理後の処理・再生・売却先、網掛け施設が高野産業㈱で中間処理後の処理先からの売却先〕

中間処理後の廃棄物		管理NO	施設の種類	処理方法	処理能力	備考及び処理後の残渣等	
繊維くず、ゴムくず、ガラスくず及び陶磁器くず (選別・破碎)	D	中間処理	破碎・選別	166t/日	166t/日		
			破碎・圧縮減容	132.7t/日	83.2t/日		
		最終処分	管理型埋立	埋立容量：4,503,360m ³		最終処分	
	D-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量：703,500m ³		最終処分	
	T	最終処分	安定型埋立	埋立容量：391,700m ³		最終処分	
石膏ボード (選別)		M	中間処理	破碎・圧縮	30.72t/日	28.17t/日	
石膏粉	M-1	再資源化施設	再資源化施設		売却 (土質改良材)		
	M-2	中間処理	焼成	1,562t/日		セメント原料	
	M-3	再資源化施設	再資源化施設		売却 (板紙・中芯材等)		
紙くず							
金属くず (選別・圧縮)		I	中間処理	圧縮切断	48t/日		
金属くず・廃プラ (選別)		J	中間処理	破碎・圧縮	9.44t/日		
		J-1	再資源化施設	再資源化施設		製鉄原料	
		T	再資源化施設	再資源化施設		売却 (製鉄原料)	
		U	再資源化施設	再資源化施設		売却 (製鉄原料)	
がれき類 (選別)		N	中間処理	破碎	256.0t/日		
		O	中間処理	破碎	800t/日		
		H	中間処理	破碎	320t/日		
		P	中間処理	破碎	321t/日		
		D	中間処理	破碎・選別	166t/日	166t/日	
				破碎・圧縮減容	132.7t/日	83.2t/日	
			最終処分	管理型埋立	埋立容量：4,503,360m ³		最終処分
		D-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量：703,500m ³		最終処分
T	最終処分	安定型埋立	埋立容量：391,700m ³		最終処分		
汚泥 (道路清掃に伴う汚泥) 中間処理後 (選別)		Q	最終処分	管理型埋立	埋立容量：3,164,302m ³		



代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21環境管理システム構築と同システムを運用し、運用実績を踏まえ弊社の代表者である私は、全体の取組状況を評価し次の事項について指示しました。

(1) 環境方針について

引き続き、環境保全への行動指針に則って取組みを行うよう指示いたしました。

(2) 目標・環境活動計画

本年度は前年度に引き続き環境目標(3か年計画)のもと、二酸化炭素排出量削減の目標達成に向け活動を行うよう指示いたしました。

二酸化炭素排出量の削減に向け、全社一丸となって取組を行ってきました。全社員の環境に対する意識の向上および計画行動には目を見張るものがあります。また今年も1年を通して水使用量が増加していましたが、夏場の井戸水の枯渇時期が例年より早く期間も長かった事もあり、当面は現在の目標数値のまま活動を行う事にしました。よって目標数値等の見直しは不要と考えましたが、来期1年数値に気を付けながら節水を心掛けるよう指導しました。

(3) 環境経営システムの各要素について

現在のところ変更は不要である。

今後、各要素について見直しが必要な箇所が出た場合は協議して取決めを行う。

2019年12月28日

代表取締役 高野 実



毎年11月に実施されております下祖母石地区の「秋の環境整備 水路清掃」に今回も参加いたしました。

恒例の行事に意気揚々と大勢の方が集まれ、弊社からは5人が加わりました。

地域の皆様方と一緒に心地良い汗を流し、楽しく言葉を交わしながら水路の清掃作業を行いました。





毎年7月に実施されております下祖母石地区の「韮崎市 河川愛護デー」に今回も参加いたしました。大勢の方が参加され、地域の活気を感じます。区長様のご挨拶のあと役員の方から清掃区域の説明をいただきました。同じ区域を担当される組の方々とは清掃区域に向け歩き出し、いよいよ清掃作業の始まりです。今回も朝6時からの作業でしたが、気温も高く大粒の汗が流れ落ちるほどの暑さとなりました。割り当てられた区間は道路ではなく水路だったため主にドブ掃除を行いました。管理が良いためごみはほとんど落ちていません。根強く茂る雑草をこちらも根気よく抜いたり、刈ったりしていきます。地域の皆様と汗を拭いながら頑張ったおかげで予定していた時間内に作業を終える事が出来ました。これからも清掃行事に積極的に参加し、地域の皆様と親睦を深めながら環境美化に努めてまいります。





毎年8月に実施されております三区合同の盆踊り・カラオケ大会に今回も参加いたしました。長年続いている恒例のイベントになっており、毎年、模擬店を出店させていただいております。毎年大人気の【金魚・ヨーヨーすくい】と【ソフトクリーム】の2つを出店。子供たちに好評の金魚・ヨーヨーすくいに添える【光るグッズ】を今年も沢山用意しました。双方とも、大好評にて完売となりました。金魚をすくう子供達の真剣な眼差しと皆様の満面の笑みに感動し、頂くお礼の言葉に一同、喜びを感じております。売上金は「下祖母石地区自治会」へ、今回も全額寄付させていただきました。

